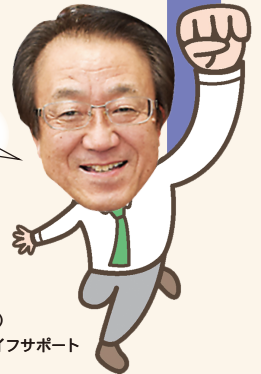


今月も
つぶやき
ます!つぶやき
がんちゃん

齋藤 廣勝

(さいとう ひろかつ)

株式会社トータルライフサポート
代表取締役

- ・CFP®サーティファイドファイナンシャルプランナー
- ・1級ファイナンシャルプランニング技能士
- ・日本商工会議所 年金・退職金等認定講師
- ・住宅ローンアドバイザー

保険の「見える化」を…!

今月の
テーマ

これまで、教育資金・住宅資金・老後資金の三大資金を取り上げてきたが、皆さんは、どれだけ「見える化」ができているだろうか…?三大資金に対する考え方は、それぞれの家族構成や生活環境によって大きく異なるものの、該当する方の場合は、それに係る資金も大きいことから、その優先順位は高い。故に三大資金なのだ。しかし、それだけ見える化すればいいという訳ではない。三大資金に次ぐ資金として、その拠出額からして保険が挙げられる。保険には大別して、生命保険と損害保険が挙げられるが、いずれにしても生活上の安心・安定を維持する上では欠かせない問題だ。であれば、保険は「転ばぬ先の杖」とも言える存在だ。だとすれば、保険の加入の在り方は三大資金と同等、いや、それ以上の存在であるかもしれない。事故や自然災害、病気やケガなどなど、そのインパクトは家庭や家計が崩壊の危機に繋がりがねない。これらに備えるため、誰もが生命保険・損害保険には大なり小なり加入しているはずだ。そして、それに係る保険料の負担も決して少なくはない。であれば、加入する保険の種類や

保障・補償の範囲などは、しっかりと把握されていないかもしれない。ここでも、保険への加入自体が目的ではなく、「転ばぬ先の杖」として機能するものでなければならないし、その保険料も合理的なものでなければならない。

「見える化」は、それ自体が目的ではないことは何度も言ってきたし、決してここで終わってはならない。「見える化」した後は、様々な問題や課題が浮き彫りになってくる。本来の目的は、この先にあるのだ。例えて言うなら、人間の体の場合もそうだ。ほとんどの方が定期的な健康診断(見える化)を受けていると思うが、その目的は自身では見えない体の中に起きている様々な変化を「見える化」することだと言える。にもかかわらず、健康診断の検査結果を受けて、要精密検査や病気を指摘されても、それを無視している方も少なくない。何のための健康診断か?言わずと知れたことではあるが、「見える化」された結果を受け止め、その先に想定されるトラブルを未然に防ぐことへの行動が伴わなければならないはずだ。

自然災害の事例に学ぶ

2023年7月14日から16日にかけて、秋田県を中心に発生した集中豪雨による洪水は、目を覆いたくなるような惨状となり全国放送で報じられた。秋田市中心部の一面が湖と化し、これが秋田の駅前かと疑いたくなるような光景が広がっていた。おびただしい数の住宅や店舗などが浸水し、その被害額たるや想像を絶する規模となってしまった。2023年の国内の被害による被害額は約1400億円に上り、都道府県別では秋田県が最も大きく、同県では1961年の統計開始以来最大の被害額となってしまう。住宅への被害は7039棟にも及んだ。自然災害の脅威はなかなか想定しにくいだけに、完全な回避は難しい。しかし、損害を受けた住居への物理的な復旧費用にあつては、損害保険などで補填することが可能である。しかしながら、被害住宅の中には水害への補償そのものが無かったり、復旧費用に対する十分な補償を得られなかった住宅も少なくはなかったようだ。その一例を挙げると、「火災保険そのものに未加入だった」、「加入はしていたが水害への補償がついていなかった」、「加入はしていたが補償金額が充分ではなかった」、「建物の補償はあったが家財への補償がなかった」などなど、これらの事実をそもそも知っていたかどうかという問題も大きい。災害が発生して、初めて充分な補償がされないことに気付いた方もいたように、その思いたるや察するに余りある…。何が問題か、というところ、まさに「見える化」ができていなかったということになる。火災保険の加入にあつても、それ自体が目的ではなく、存在す

保険と暮らしの相談センター

家計の見直ししませんか?

近頃の物価高で様々なものの値段があがっている今こそ、家計を「総点検」してみませんか?
弊社では家計収支の点検・見直しアドバイス～収支計画(キャッシュフロー表)の作成までお手伝いしております。まずはお気軽にご相談を!

お気軽にご相談ください。

株式会社
TCS total life support 募集代理店 トータルライフサポート〒010-0916 秋田市泉北3丁目17-22
●営業時間/9:30~18:00(土・日・祝日は9:30~17:00)
●定休日/水曜日

TEL 018-827-7611

FAX 018-827-7610

URL https://tls-akita.co.jp

詳細は
ホームページでも
ご覧いただけます。

